

# ゆるめき

- 【理事長のあいさつ】  
働き方改革について
- 【うまげな話】  
「ミネラルについて～セレンの効能」
- 【健康ひろば】  
「胃がん検診」
- 【行事報告&お知らせ】  
第13回まんのう健康・福祉まつり  
平成30年実績報告
- 【編集後記】

## ●第13回まんのう健康・福祉まつり

平成31年3月16日(土)に開催された「第13回まんのう健康・福祉まつり」に永生病院介護医療院と通所介護いこいの家、通所介護げんきの郷が参加しました。

パネル展示ではご利用様が制作された作品展示、ミニミニデイ体験コーナーでは、地域の方々にデイサービスで行っている体験等を体験して頂きました。

作業療法士が脳と体を同時に使うことで認知症予防に繋がると言われている「コグニサイズ」、歯科衛生士は口腔機能の維持向上に繋げる「左右肩上げゲーム」「パタカラコーラス」を行いました。

コグニサイズは2つの動きを同時に行うため、職員も間違え事がありましたが、楽しく体を動かす事が出来ました。パタカラコーラスも手拍子に合わせて、一生懸命歌って下さいました。小さいお子様から高齢者の方まで、様々な年齢の方が参加して下さいました。



## ●新採用者オリエンテーション&ひまわり託児所修了式(第25期)

平成31年3月26日(火)、春の陽気と共に新採用者オリエンテーションとひまわり託児所修了式が同日に行われ、ひまわり託児所の修了式では、3名の子供たちが巣立っていきました。

新採用者オリエンテーションでは、少し緊張した面持ちの11名が当法人について色々な説明を受け、4月1日から圭良会の一員となりました。8日間の部署研修と各委員会による研修を受けた後、各部署に配属されましたのでどうぞよろしくお願い致します。



平成30年度 ひまわり託児所修了式

### 【編集後記】

春の陽気にぐんぐんと芽を出し次々に花を咲かせる植物や、春を告げてくれる鳥たちに癒される今日この頃ですが、平成から新しい元号に替わる歴史に残る今年度、永生病院は開設35周年を迎えます。また5月には、日本医療機能評価機構が実施している病院機能評価の4度目の受審も控えており、当院にとっても記憶に残る年になると思います。病院機能評価の受審に向けていよいよ最終確認の段階ですが、日々の業務を一から見直し、患者様にさらに質の良い医療を提供していきたいと思ひます。



永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

医療法人 圭良会	
● 永生病院	香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
● いこいの郷 (居宅介護支援事業所)	Tel 0877-73-3655
● いこいの家 (通所介護)	Tel 0877-73-3718
● げんきの郷 (通所介護)	仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
● 森内科	香川県仲多度郡琴平町167 Tel 0877-73-4188
● グループホームこんびら (認知症対応型共同生活介護)	Tel 0877-73-0811
● サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護)	香川県仲多度郡琴平町横井字池田451番地1 Tel 0877-58-8600

永生病院広報誌「ゆるめき」第55号  
発行元：医療法人圭良会 永生病院  
編集者：医療サービス改善委員会  
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3  
TEL:0877-73-3300  
FAX:0877-73-3202  
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>  
eメールでのお問い合わせは [keiryokai@eisei-hp.or.jp](mailto:keiryokai@eisei-hp.or.jp)  
発行年月日：平成31年4月10日

### ■病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

### ■基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません  
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします  
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

### ■患者の権利章典

- |             |                 |           |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1. 医療を受ける権利 | 3. 知る権利         | 5. 学習する権利 |
| 2. 自己決定権    | 4. プライバシーに関する権利 | 6. 参加と協同  |



KEIRYOKAI

● 理事長のあいさつ

働き方改革について

日本中が待っていた新しい元号が「令和」に決まりました。「令和」の意味は人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ、梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように、という意味で、出典は万葉集の歌からでした。日本独特の元号ではありますが、いよいよ平成が終わり、5月から新たな令和の時代になるのかと思うと感慨深いものがあります。

最近、働き方改革への取り組みが各方面おこなわれています。少子化の急速な進行が日本の経済社会に深刻な影響を与えることが懸念され、その背景の一つには、仕事と子育ての両立が困難な職場環境があると指摘されています。

このような状況をふまえ、次の世代を担う子供たちが健やかに生まれ育つ環境をつくることを目的として、「次世代育成支援対策推進法」が平成15年に成立しました。平成17年に施行され、10年間の法律でしたが、さらに平成37年3月31日まで延長となりました。女性職員が7割以上を占める当法人においては、平成6年に院内託児所設置、育児休業取得へ取り組みを開始しておりましたので、この法律施行後は、さらに制度への取り組みを行い、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣認定の次世代認定マーク(愛称:くるみん)を取得し、I期(H18年)、II期(H20年)、III期(H23年)、IV期(H27年)と4回取得を継続しています。育児・介護と仕事の両立が当たり前の職場風土づくりに取り組んできた主な内容としては、職場復帰講習プログラム、両立支援ガイドブック作成、男性の育児休業取得、介

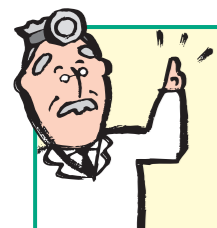
護休暇制度、年次有給休暇取得推進、再雇用制度導入、積み立て年休制度などがあります。V期目として、現在取り組んでいる内容は、「所定外労働の削減のための措置の実施」です。

法人内の周知を目指し、全職員からポスター、標語をつのった結果、素敵なポスターや標語が選ばれ、院内に掲示しています。有効な業務改善など積極的にとりいれ、全職員でノー残業を目指し頑張っています。



理事長 森 伊津子

- 標語
- チーム医療、みんなで団結「ノー残業」
  - しっかり働き、きっちり休む、ノー残業
  - ノー残業、脳を休めて 能率アップ



健康は毎日の食事から...

うまげな話

【第26回】～ミネラルについて～ セレンの効能

ビタミンと同じ働き of 微量栄養素の「ミネラル」は、16種類もあります。その中でも今回は「セレン」についてご紹介したいと思います!

ミネラルとは...

骨や歯など体の構成成分になる、体液のバランスを調整する、酵素の成分になる、神経や筋肉の働きを調整するなどの働きがあります。

セレンの主な効果効能

過酸化脂質を分解する酵素の成分になり、組織の老化を防いだり(アンチエイジング効果)や動脈硬化を防ぐ。抗酸化作用があり、がん細胞の増殖を抑制する。

1日あたりの摂取目安量	男性	女性
成人	30μg	25μg
70歳以上	30μg	25μg

セレンを多く含む代表的な食品とは...

えび・いか・かに	ウニ
かつお・いわし	牛肉・ラム肉
煮干し・丸干し	卵

うまげな 料理カード

がんや生活習慣病&動脈硬化予防の絶品料理!!

シーフードマリネサラダ 2人分

材料 シーフードミックス/100g トマト/1ヶ セロリの茎/60g  
オリーブオイル/大さじ2杯 塩・黒こしょう/適量 酢/大さじ1杯

作り方 ①シーフードミックスは、茹でておく。  
②トマトはへたをくりぬぎ、セロリは筋を取って、それぞれ1cm角に切る。  
③ボウルに調味料を入れて混ぜ、①と②を加えて和える。

●セレンの特徴...  
セレンは、魚介類に特に多く、牛肉やラム肉以外に牛や豚の腎臓(マメ)などにも豊富に含まれています。また、吸収されやすいミネラルで、摂取したセレンの約80%が腸で吸収されると言われています。



健康によい食材をバランスよく食べましょう! 栄養科

体の安心情報板 健康ひろば 第38回 テーマ 「胃がん検診」

突然ですが皆さん、胃がん検診を受けていますか?

最近、「有名人の〇〇さんが△△がんでお亡くなりになりました」とか「ステージ4の□□がんで闘病中です」などのニュースを目にすることが多くなりました。といいますが、がんは日本人の死亡原因の1位で、3人に1人は何らかのがんで亡くなります。また、2人に1人は一生のうち何らかのがんになると言われています。そう、がんは決して珍しい病気ではありません。中でも胃がんは近年減少傾向にあるとはいえ、いまだ大腸がんに次いで2番目に多いがんです(男性1位、女性3位)。

——でも、特に症状ありませんし、ご飯もよく食べられます...

胃がんなどの内臓のがんがなぜ怖いのか? 症状もないのにどうして検診を受けるように言われるのか? それは、症状が出てから見つかった場合ではその時点で手遅れになっていることが珍しくないからです。逆に早期の状態で見つけることができれば、胃カメラによる内視鏡治療や、手術が必要な場合でも腹腔鏡手術やロボット手術などの低侵襲な(体に優しい)手術でほぼがんを治すことができます。

現在日本では、市区町村により若干の違いはございますが、「50歳以上の方に1~2年ごとの胃レントゲン検査(バリウム検査)または胃内視鏡検査による胃がん検診」が推奨されています。胃レントゲン検査で精密検査が必要になった場合には胃内視鏡検査が必要になります。胃内視鏡検査の方が、胃レントゲン検査よりもより詳細な観察ができ、より早期の病変を見つけることが可能な場合が多いです。ですので、胃がん検診を受けられる場合は最初から胃内視鏡検査での検診をお勧めします。

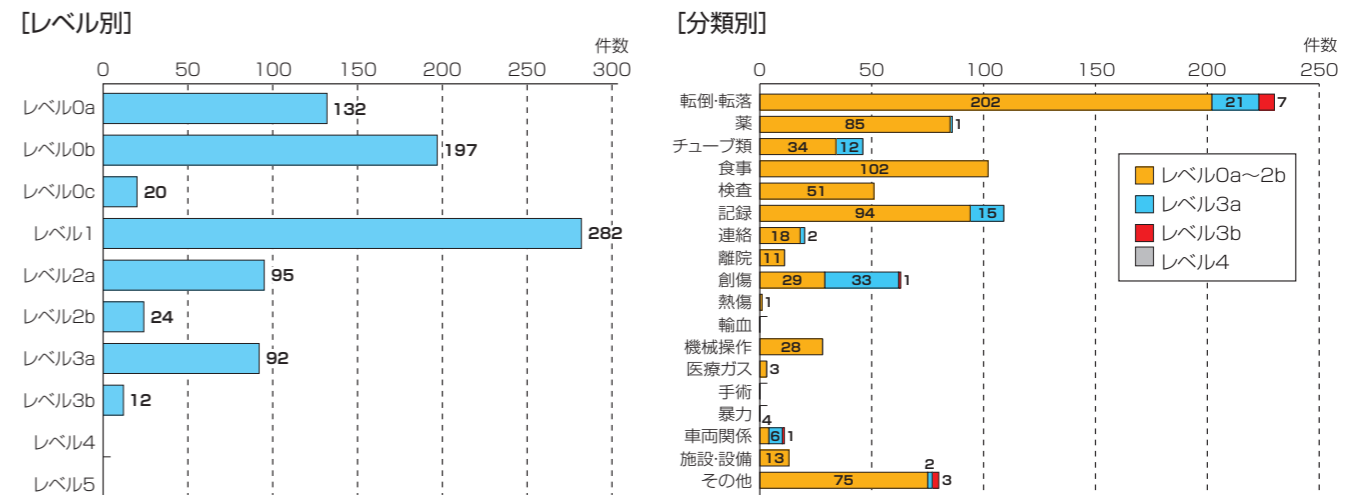
早期胃がんの患者さんから末期胃がんの患者さんまで、これまで多くの胃がん患者さんを診てきた一人の外科医からの願いです。  
「胃がんで亡くなる患者さんとそのご家族・ご友人の悲しむ姿を少しでも減らしたい」  
皆さん、胃がん検診を受けましょう!



消化器外科 黒田 新士

●平成30年 実績報告

平成30年(1月~12月)のインシデント報告件数実績



当院では、患者様の診察やケアにおいて、医療事故を起こさない様に、日常ヒヤッとした事をインシデントとして取り上げ検討しています。[レベル別]は、インシデントによって患者への影響が小さい(処置は不要)事例を0a、影響が中等度の事例を0b、影響が大きい事例を0cレベルとし、患者への実害はなかったが患者へ影響を与えた可能性は否定できない事例をレベル1、処置や治療は行わなかったが、観察の強化を要した事例をレベル2a、処置や治療は行わなかったが、検査などの必要性が生じた事例をレベル2b、簡単な処置や治療を要した事例をレベル3a、濃厚な処置や治療を要した事例(骨折など)をレベル3b、永続的な障害や後遺症が残った事例をレベル4、患者が死亡した事例をレベル5とした実績です。

[分類別]は、グラフに表記している内容ごとに分類して集計を行っています。一番多いのは[転倒・転落]で、レベル0a~2bの占める割合が多くなっています。ほぼ、転倒・転落する前に発見し、濃厚な処置や治療を要しなくても良かった事例がほとんどですが、骨折や手術などの大きな事故につながらないように気をつける必要があります。

以上の様に、全職員がヒヤッとした事や気付いた事などをインシデント報告書に記入し、発生要因と分析・防止策を立て、さらに3ヶ月後に評価を行いながらインシデント防止に努めています。

医療安全管理委員会